

市政執行方針



砂川市長
飯澤 明彦

子どもたちが健やかに
成長できる環境づくり

子どもたちが多様な価値観と
社会性を育み、健やかに成長で
きるよう、教育効果を高めるこ
とを目指して、平成30年度より
小中学校の適正規模・適正配置
の検討を開始してから8年が経

過しました。新たな学び舎「義務教育学校砂川市立砂川学園」がいよいよ開校いたします。義務教育9年間を一体的に捉え、指導の一貫性や学びの系統性を重視した教育活動を展開することで、子どもたちにより良い環境でより質の高い学校教育を提供してまいります。

また、潜在的な保育需要が高まりつつあることから、さくら保育園に併設している子育て支援センターを地域交流センターゆうへに移転し、利便性向上を図るとともに移転後の空きスペースを保育室として活用してまいります。

このほかにも、引き続き高校生等までの医療費の無料化や学校給食費の無償化の実施、子育て中の保護者の方々の懇談を通じて、必要な施策を講じてまいります。

まちなかの活性化

「まちなか交流施設すないる」は、オープンから間もなく1年を迎え、これまで延べ8万人を超える市内外の皆さまにご利用いただいております。すないるを中心市街地活性化の拠点として、市民や市外からの来訪者が世代を超えて出会い、交流できる場を創出するほか、市内回遊の促進を図り、まちなかのにぎわいと魅力を生むまちの居場所として機能するよう、関係団体と連携し施設の持続的かつ安定した運営に努めてまいります。

持続可能なまちづくり

本市の人口は減少傾向で推移しており、高齢化率は全道・全国平均を上回る状況が続いております。地方版総合戦略「第3

期砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、人口減少が進む中においても、持続可能なまちづくりのための具体的な施策を取りまとめしております。中でも、私が市長就任時に掲げた第一の基本政策である「子育て世代を支援し、安心して子育てができるまちづくり」については、妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援や子育て世帯の経済的負担の軽減、子どもたちの学習環境の充実など、「子育てするなら砂川」を実感していただけるよう、努めてまいります。今後も各種施策を市民の皆さまと一丸となって推し進め、より住み良いまちを築いていくことが、ふるさとへの愛着を深め、「このまちに住みたい、住み続けたい」という思いにつながり、持続可能なまちづくりへ発展できるものと考えております。

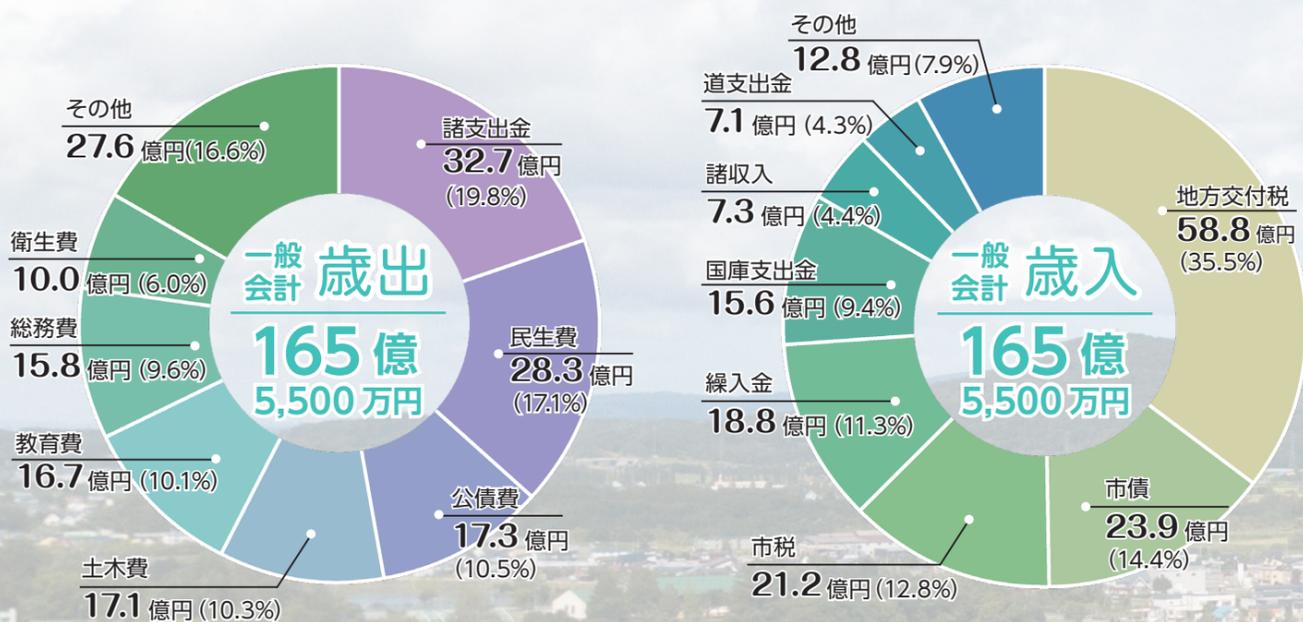
令和8年度 予算額

歳入の自主財源の根幹である市税では、個人、法人ともに所得が上昇傾向にあることから、17年ぶりに21億円台の税収が見込まれる状況です。地方交付税については、人件費に充てる給与改善費、公共サービスや施設の管理、道路や河川の修繕などの関係経費の引き上げ、さらには、物価高騰の影響による学校・福祉施設などの公共施設の光熱費の高騰が見込まれることから、前年度より予算額が増額となっています。

市税の収納率は全道において上位に位置していますが、引き続き、コンビニ収納や口座振替のほか、キャッシュレス納付の推進を図り、自主財源の確保に努めます。また、ふるさと応援寄附金については、地域資源と魅力の掘り起こしに努め、効果的な情報発信にも取り組み、返礼品を通して地域経済の活性化につなげていきます。

安定的な歳入の確保と財政規律を遵守し、各事業の推進と財政健全化の両立を目指した市政運営に取り組んでいきます。

一般会計



特別会計 (国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療保険) 46 億 2,826 万円

企業会計 (下水道事業・病院事業) 197 億 7,423 万円

活力にあふれ賑わいのあるまち

プレミアム商品券発行事業補助金

9,364万円

商工会議所が実施する「プレミアム商品券」発行経費の一部を補助します。(利用期間：令和8年5月～10月予定)

プレミアム率50%!!



新規就農育成支援事業

2,804万円

農業の担い手確保対策として、新規就農フェアへの参加、農業体験の支援により新規就農へのきっかけづくりを行います。また、就農初期段階の青年就農者に対し給付金を支給するほか、農地の賃貸料、農業機械の購入費の一部を補助します。



駅前施設管理事業

2,321万円

まちなか交流施設すないるの利用促進のため、リーフレットやチラシの作成および電柱への広告掲出によるPR活動を行います。また、施設の運営を指定管理により商工会議所・観光協会へ委任します。



駅前広場整備事業

3,000万円



歩行者および駅送迎者の利便性向上のため、駅前広場の一部を再整備します。

自然と調和した快適で住みよいまち

住み替え支援事業

1,873万円

高齢者や子育て世帯が居住する住宅、世帯規模などから生じるミスマッチの解消に向けた住み替えしやすい環境づくりを目指し、空き家の利活用や定住促進を図ります。



ハートフル住まいる推進事業

7,850万円

「砂川市住生活基本計画」の重点プロジェクトのひとつとして掲げた「ハートフル住まいる推進事業」を継続して定住促進やまちなか居住の誘導、良質な住宅ストックの形成、地域関連企業の利活用促進を図ります。



公園施設長寿命化遊具修繕事業(8公園)

461万円

公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化している市内公園遊具の修繕などを行います。

・日之出公園、晴見公園、豊栄公園、北光公園、つばめ公園、東公園、三砂公園、オアシスパーク



健やかに安心して暮らせるやさしいまち

乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)

477万円

子育て支援センター移転事業

670万円

さくら保育園定員拡充事業

2,682万円

保護者の就労状況などの変化により、0歳児および1歳児の保育需要が高まっている状況に加え、就労要件を問わず時間単位で柔軟に利用できる「こども誰でも通園制度」の実施にあたり、さくら保育園に併設している子育て支援センターを地域交流センターゆうへ移転し、保育環境の拡充および利用者の利便性の向上を図ります。また、移転後の空きスペースを保育室として活用することで、保育需要に対応した保育サービスの充実を図ります。



学校給食費無償化事業

6,819万円

医療費負担金無料化事業

3,319万円

安心して子どもを産み育てる環境づくりのため、児童生徒の学校給食費の無償化、高校生等までの医療費の無料化を行い、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ります。



南吉野老人憩の家建替事業

19,426万円



築50年以上が経過する南吉野老人憩の家の老朽化が著しいため、建て替え工事を行います。

社会福祉施設等物価高騰対策支援給付金

3,137万円

エネルギーや食料品などの物価高騰により、厳しい経営環境にある介護、障がい福祉・医療サービスなどを提供している事業所(対象：78か所)に対し、安定的なサービスが供給できるよう支援します。

開業医誘致等補助事業

9,840万円

開業医誘致等補助事業の内容を広く周知するため、ディスプレイ広告や医療関係者向けの新聞広告の掲載を行い、地域医療体制の充実に向けた開業医の誘致を促進します。また、令和8年度中に診療所の開設および既存の診療所で医療機器などの更新が見込まれることから、費用の一部を補助します。



今年度の主な事業紹介

教育行政執行方針

4月に開校する「義務教育学
校砂川市立砂川学園」において、
義務教育9年間を通じた指導の
一貫性や学びの系統性を重視す
る小中一貫教育を推進し、学力
や体力の向上、豊かな人間性の
育成など、子ども達の「生きる力」
を育むとともに、市民一人ひと
りが生涯を通して主体的に学び
続け、その成果を生かすこと
ができる生涯学習社会の実現を
指してまいります。

学校教育においては、カリキュ
ラム・マネジメントを強化し、「個
別最適な学び」と「協働的な学び」
を一体的に展開し、子ども達が主
体的に学び続け、新たな見方や考
え方を獲得できる学習活動を展開
することが重要であります。

社会教育においては、学びを
通じて個人の成長を期する「人
づくり」、住民相互のつながりの
形成を促進する「つながりづく
り」という強みを発揮するなど、
「地域づくり」に貢献しながら、
持続可能な活力のある社会の実
現に向けて、「開かれ、つながる
社会教育」へと深化を図ってま
います。

社会教育

生涯学習の推進

- ・学校、家庭、職場や地域で、生涯学習へ積極的に参画する体制づくりを推進
- ・閉校校舎の一部を利活用し、地域サークル活動などを継続できるよう施設環境を整備

公民館における学習活動の推進

- ・公民館グループ・サークルなどの学習活動の支援

図書館を拠点とした読書活動の推進

- ・ブックスタート事業や学校図書館の支援、子どもから大人まで日常的な利用につながる図書館の魅力向上

文化財の保護、郷土資料の保全・活用の充実

- ・無形民俗文化財の周知、郷土資料室特別展の開催

スポーツ・レクリエーション活動およびスポーツ環境施設整備の推進

- ・健康増進事業やスポーツ教室などで体育施設の利用促進
- ・市営野球場、海洋センターの改修など施設環境を整備

家庭教育支援の充実

- ・保護者への家庭教育に関する学習機会および情報の提供、子育て相談を実施し、家庭の教育力向上を支援

青少年健全育成活動の充実

- ・あいさつ運動や砂川学園における新たな形での放課後子ども教室の実施を検討し、子ども達の安全安心な居場所づくりと地域ぐるみで見守り育てる環境を醸成



学校教育

確かな学力を育む教育の推進

- ・前期課程の後半から段階的に教科担任制を導入し、質の高い授業を実施



健やかな体を育む教育の推進

- ・保健体育科の授業改善、栄養教諭や家庭・地域などと連携した食に関する指導の充実



豊かな心を育む教育の推進

- ・発達段階や実態に応じた適切な教育環境の整備
- ・新たに開設する教育支援センターの機能を生かし、不登校の問題に対する早期発見・早期対応

特別支援教育の推進

- ・個々の教育的ニーズに応じた支援を行うため、特別支援教育支援員を増員

学びにつなげる支援の推進

- ・経済的理由により就学困難な世帯に対し、就学援助制度による支援
- ・砂川学園と幼稚園や保育園などの連携を深め、卒園から入学後にかけて切れ目のない支援体制を整備

地域とともにある学校づくりの推進

- ・保護者連絡アプリを活用した情報共有による連携の強化
- ・地域全体で生徒の部活動を支えていく取り組み

明日へつなぐ協働と支え合いのまち

ふれあいセンター正面玄関等改修工事 3,139万円

築36年が経過するふれあいセンターは、施設の内外が老朽化していることから、正面玄関のポーチ屋根・床タイル、車庫、ブラインド・カーテンなどを改修し、施設の長寿命化を図ります。



公民館空調設備設置工事 8,744万円



猛暑の影響を受けている公民館内の環境の改善を図るため、空調設備設置工事を行います。

ひまわり保育園暖房設備改修工事 1,750万円

暖房用ボイラー4台について、経年劣化により機能が低下していることから更新を行います。



豊かな心と学ぶ力を育むまち

教育支援センター事業 690万円

砂川学園の開校にあたり、校内に教育支援センターを開設し、不登校の児童生徒への学習支援、教育相談、個々の事情に応じた生活相談業務を行うほか、保護者や学校などの関係機関と連携を図り、学校復帰に向けた支援業務を行います。



スクールバス運行管理事業 7,579万円

砂川学園の開校に伴い、遠距離通学となる児童生徒に対して、8台のスクールバスを運行し、通学を支援します。



AIドリル・協働学習ソフト導入 215万円

児童生徒の個別学習に対するより一層の支援や一人ひとりに合った学びの実現を図るため、AIドリルを導入します。また、学習進度および理解度に応じた学びを推進するとともに、テストや宿題、学習教材のデジタル化により教職員の負担軽減を図るため、協働学習支援ソフトを導入します。

地域交流センター整備事業 4,633万円



建物躯体や設備、備品などに経年劣化が見られることから、修繕および改修を計画的に行い、施設環境の整備を図ります。